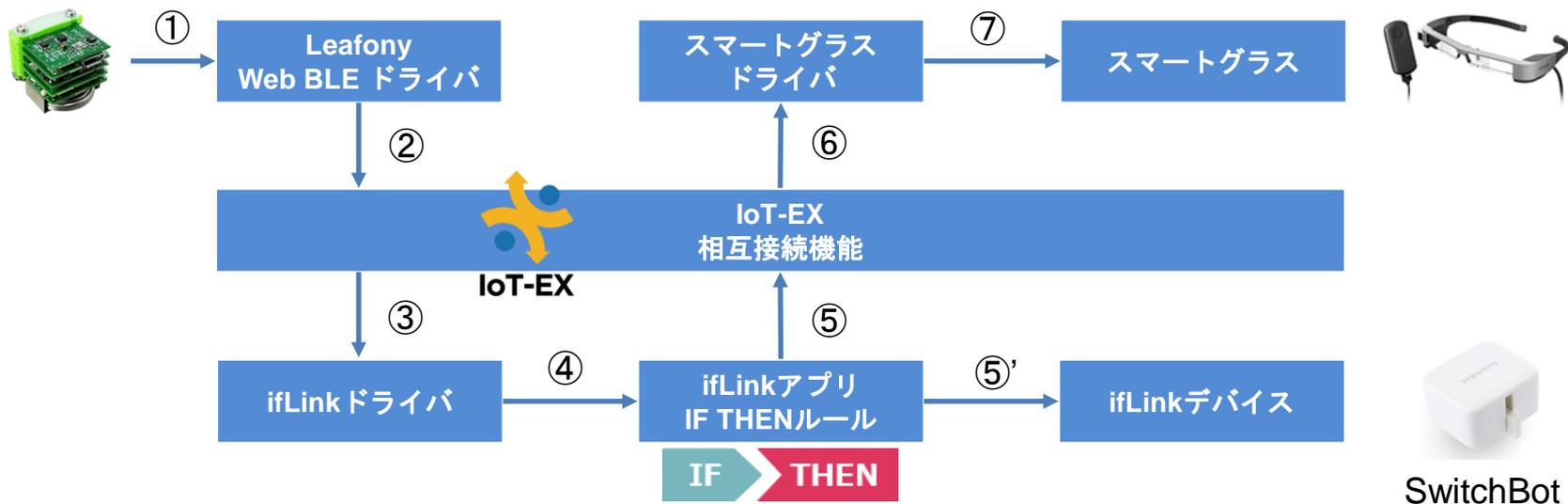

Leafony / ifLinkデバイスの IoT相互接続

IoT-EX相互接続の活用方法

Leafony / ifLinkデバイスのIoT相互接続の構成図 (IF)

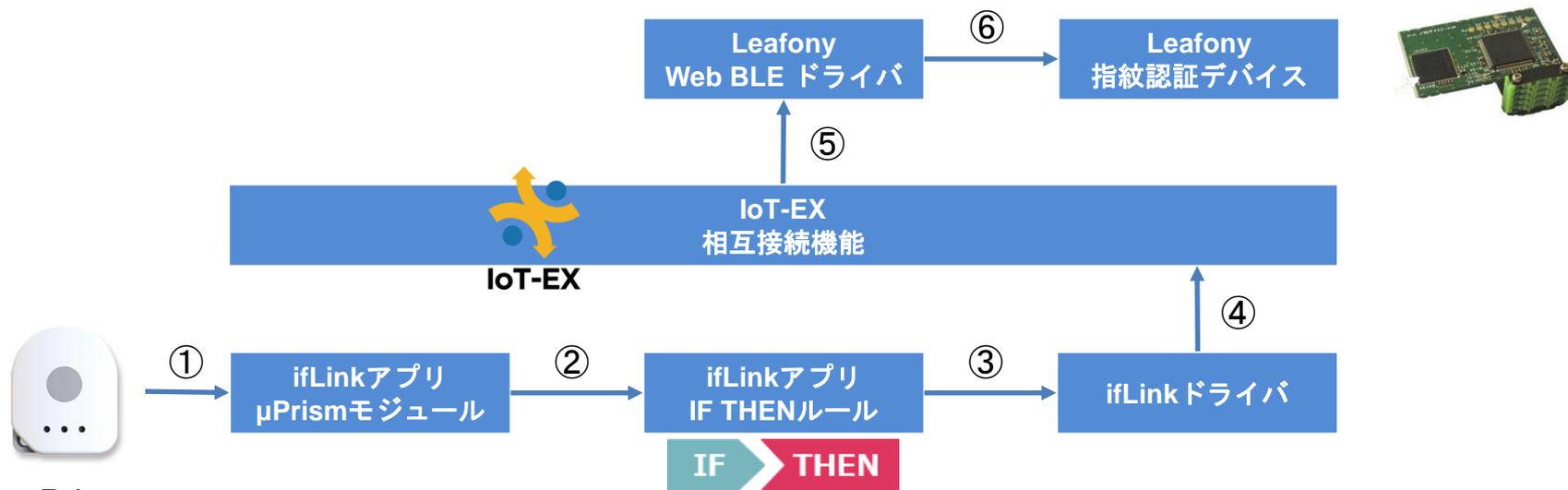
- IF で、Leafonyを指定する場合



※ SwitchBotは、IoT-EXが提供するドライバでも相互接続が可能

Leafony / ifLinkデバイスのIoT相互接続の構成図 (THEN)

- THEN で、Leafonyを指定する場合



μPrism

7種類のセンサーデバイス

※ μPrismは、IoT-EXが提供するドライバでも相互接続が可能

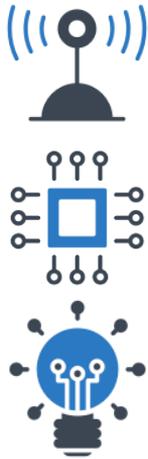
検証結果

- Leafonyデバイスが、さらに様々な相互接続が可能になりました。
- ifLinkドライバを利用することで、IF / THENルールも利用可能になりました。
- Leafonyのエッジ間の相互接続が可能になりました。
- LPWA対応デバイスとも相互接続が可能になりました。



IoTシステムの課題

プロトコルやデータ形式の違いに対応したアプリケーションの開発が必要になる

センサー	通信手段	プロトコル	データ形式	アプリケーション
	LTE LPWA LoRaWAN ELTRES SIGFOX ZETA Wi-Fi Bluetooth RS232C RS422 RS485	HTTPS FTP MQTT BLE SERIAL	Binary HEX String CSV File JSON Text	Web App Android Apps iOS Apps

それを不要にするのが、IoT-EXの

ドライバ

パース

Leafony / ifLinkデバイスのIoT相互接続のまとめ

Leafonyを活用で、以下について悩む必要はありません。

- デバイスデータの送信／管理（アプリケーション連携）
- デバイスの命令通知
- デバイス間の相互接続（広域網／ローカル網に関わらず）
- 通信手段（LPWA[Sigfox/ELTRES] / Bluetooth / RS232C）の違いを吸収し相互接続可能
- プロトコル（HTTPS / MQTTS / BLE / SERIAL）の違いを吸収し相互接続可能
- データ形式（Binary / HEX / CSV）の違いを吸収し相互接続可能

Leafonyデバイスの接続は、簡単です。

デバイスがつながる前提で、その先のサービスの検討を。

サービス提供にあたり、1デバイスのみで提供するのが難しい場合がほとんどかと思います。相互接続を前提とした機能を是非、活用してください。